

週 報

1992年12月27日 降誕節第1主日

巻 13 39号

1992年度教会主題

「復活の主を見る」

聖句 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださいとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

ルカによる福音書 24章31節～32節

- 目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. 交わりを深めつつ、教会の新しい方向を求める。

闇」を神の「光」に変えられるためであった。イエス・キリストの生涯は、ご降誕の出来事の通り社会から完全に疎外された人々に「神にあって生きよ」と絶対的な生の是認を宣言された。闇を光に変えられたのである。クリスマスはこの福音の確認に尽きる。

今年は三人の受洗者と二人の転入会者が与えられた。洗礼式は、いつも自分がもう一度洗礼を受けるような新たな感動を覚える。祝会で、医者から病気を告げられショックを受け、受洗すれば「利き目」があると思ったけれども、もう少し学んでから洗礼を受けますというスピーチがあった。大笑いしたが、笑えぬ真実が伝わった。教会学校のクリスマス祝会は、クラス別に出し物をしたが、イエスを迎えるクリスマスにふさわしい「靴屋のマルチン」が二クラスで演じられた。無一文になって疎死した著者のトルストイも天国で喜んでいるだろう。イブ賛美礼拝後今年久しぶりに、熟年を中心にキャロリングをした。次回は礼拝前に回ろうと思う。

一牧師室から一

今年もクリスマスを大勢の方々と楽しく有意義に礼拝や集会を持つことができた。神の御子イエスは、ローマ皇帝アウグストゥスの税金徴収のための住民登録という抑圧とヘロデ大王の自分以外の王を認めない幼児殺害の間でひっそりとご降誕された。権力者の傲慢と殺意の中にその生を現わされた。このご降誕を知らされたのは羊を飼うため礼拝に出席出来ない理由で人間と見なされなかった貧しい羊飼いたちと異教徒の占星術の学者たちであった。神は罪の中に御子イエスを贈り、人間の「

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323、045-833-6616

振替 横浜 9-13994

牧師 秋 吉 隆 雄